

未来の巨匠たちの快挙

～平成23年度大洲市きらめき大賞表彰式～



大洲市きらめき大賞表彰式が1月11日(水)、大洲市役所2階大ホールで行われました。大洲市きらめき大賞とは、毎年、大洲市の文化向上発展に関して、特に顕著な業績または成績を収めた個人もしくは団体に贈る賞のことです。約40人の関係者が集まった表彰式では、市内の児童・生徒6人が表彰されました。

表彰式で清水市長は「大洲市の人たちが、全国や世界規模での大会で優秀な成績を収めています。日本、世界で活躍するみなさんの姿は、市民だけではなく、多くの人に誇りと希望を与えました。今までたくさんの苦労があったと思いますが、家族の支えに感謝してください。これからも優秀な成績を収めることができるように頑張ってください。さらなる飛躍を期待しています」と受賞の祝福と将来への期待を述べました。

これを受け、受賞者代表の津田大健ひろゆきさんが謝辞を述べ、「新しい



年を迎えて、大洲市きらめき大賞をいただけたことは大変な喜びであり、今後の支えとなります。きらめき大賞を受賞できたことを誇りに思い、今後も大洲市や自分のために努力していきます。たくさんの祝福、ありがとうございました」と受賞の喜びと今後の抱負を語りました。

大洲市きらめき大賞は、平成19年度から始まり、現在まで延べ36の個人や団体が受賞しています。大洲市では、今後も元気で頑張る市民のみなさんを、さまざま角度から応援していきます。



いまくら あやの
今藏 綾乃 さん
(喜多小4年)

第36回「みどりの絵コンクール」の「みどりの絵」部門で、最優秀賞・環境大臣賞を受賞しました。



おつか しもん
大塚 紫文 さん
(喜多小2年)

第3回こども環境大賞の小学校低学年の部で、大賞・環境大臣賞を受賞しました。



うづみ つとむ
上田 鼓 さん
(喜多小1年)

第26回「WE LOVE トンボ」絵画コンクールの小学生の部で、大賞・環境大臣賞を受賞しました。



ひろたけ
津田 大健 さん
(八幡浜工高3年)

平成23年度全国高等学校総合体育大会のレスリング個人対抗戦120kg級で、準優勝を収めました。



じゅんじ
土井 惇司 さん
(肱東中3年)

第48回中学生海の絵画コンクールで、金賞・国土交通大臣賞を受賞しました。



まよ 舞代 さん
永井 舞代 さん
(大洲小6年)

2010年度第39回世界連邦推進全国小中学生ポスター・作文コンクールの作文の部で、特賞を受賞しました。

「絵で感動を伝えたい」

肱東中3年 土井 惇司さん

今回、このような素晴らしい賞を受賞させていただき、ありがとうございます。大洲市きらめき大賞と聞いたときは、どのような賞なのか分からなくて、受賞の実感がありませんでした。しかし、その詳細を知ったときにはびっくりしました。大洲市のみなさんを代表して表彰されたことは、本当にうれしく思います。

今回表彰された作品は、松山市の三津浜港をモチーフにしていて、完成までには約10か月の時間がかかりました。船の前にあるロープの質感や色合いなどを調節することはとても難しかったです。中でも一番苦労したのは、波の揺らぎと海に反射する太陽の光を描くことでした。時間をかけ苦労した作品が、このように表彰されたのでうれしいです。海の絵を描くことは初めてだったけど、その分先入観もなく、新鮮な気持ちで取り組むことができました。また、長期に渡って指導してくださった美術部顧問の福岡先生には、とても感謝しています。

昔から絵を描くことが大好き

で、年賀状も手書きで出すようにしています。受け取った人が、ふつと頬を緩めたりするような、温もりを伝えたいと思います。些細なことですが、そういう気持ちを大切にしたいです。

絵は同じ対象の作品であっても、より個性が表れるものです。また、写真などと違って自由に表現することもできます。それが絵の魅力であり、面白いところだと思っています。

今回の作品の制作中に、東日本大震災が起きました。津波などの映像を見て、絵ならずっと残るものなので、ここでは平和で平穏な海を描きたいと強く思いました。今後も、何かを感じさせることができる作品を目指して頑張ります。



県立長浜高等学校チーム・二モが 第55回日本学生科学賞 環境大臣賞を受賞しました



ギンチャクとの共生の仕組みを解明しました。

この研究の受賞は、違う生物同士が共生する仕組みの解明に一石を投じるだけでなく、仮説を立てて研究を進めながら一つの結論を導き出している点などが、質の高い研究と評価されての受賞となりました。

第55回日本学生科学賞中央表彰式が昨年12月22日(木)～24日(土)に、東京の日本科学未来館で開催され、高校の部で県立長浜高等学校チーム・二モが環境大臣賞を受賞しました。

チーム・二モは、海水魚のカクレクマノミがどのようにして、毒をもつハタゴイソギンチャクに刺されないようにしているのかという疑問から、カクレクマノミの体表を覆う粘液のたんぱく質に着目し、カクレクマノミとハタゴイソ



清水市長が「e-Tax」を体験

平成23年分の所得税の確定申告に際し、1月6日(金)、清水市長が国税庁ホームページの「確定申告書等作成コーナー」を利用して、電子申告(e-Tax)の模擬体験を行いました。

今回は、大洲税務署職員3人が同席し、清水市長に申告方法を説明しました。清水市長は、職員の説明を聞きながら、一つ一つ丁寧に入力していました。

体験後、清水市長は「昨年このコーナーを利用し、e-Taxで申告したが、とても便利で分かりやすい。今年も自宅のパソコンでe-Taxを利用して申告したい。ぜひ、市民のみなさんにもお勧めしたい」と感想を述べました。

国税庁のホームページの「確定申告書等作成コーナー」では、作成した申告書などを印刷して、書面で提出することができます。もしくは、「e-Tax」を利用してインターネットで送信することもできます。

「e-Tax」を利用して提出

した場合、平成23年分の所得税の確定申告では、最高4000円の税額控除を受けることができます。また、添付書類の提出を省略することもでき、さらに、還付手続きを素早く行うことができます。

「e-Tax」で申告するには、市民課で住基カードを取得し、電器店などでカードリーダーを購入すれば申告ができます。みなさんもぜひ、「e-Tax」をご利用ください。

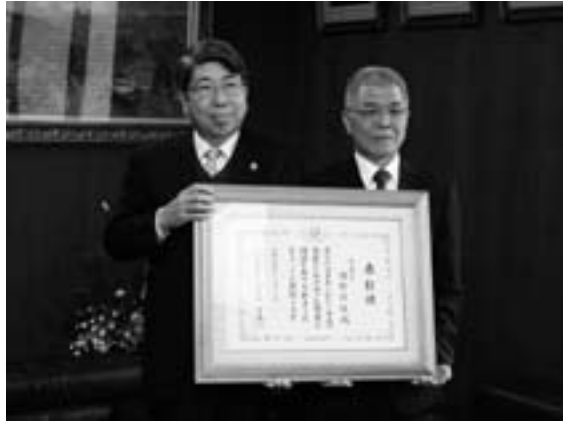


生活衛生事業功労者（水道関係功労）

厚生労働大臣表彰を受賞

有限会社いの水道設備

代表取締役 猪野政敏さん



平成23年度愛媛県水道関係功労者表彰式が1月13日（金）、松山市で開催され、有限会社いの水道設備代表取締役の猪野政敏さんが生活衛生事業功労者（水道関係功労）厚生労働大臣表彰を受賞しました。

愛媛県管工事協同組合連合会の副会長、大洲市管工事協同組合理事長を務められている猪野さんは、水道の普及発展、水道に関する調査・研究のほか、水道行政に対する協力など、長年の功績が高く評価され、今回の受賞となりました。

1月18日（水）、猪野さんと管工事協同組合関係者が市庁舎を訪れ、清水市長に受賞の報告を行いました。



『地域の宝 ゲンジボタル』を守り続けて

第8回三浦保環境賞の表彰式が2月3日（金）、松山市で行われ、柳沢ゲンジボタル保存会が愛媛県奨励賞を受賞しました。この賞は、愛媛県内で環境保護活動を続けている個人や団体を表彰するもので、県内での環境保護活動の普及・発展に寄与するとともに環境への意識の高揚を図ることを目的に創設されているものです。

柳沢地区を流れる矢落川の沿線は、ゲンジボタルの発生地として、愛媛県天然記念物に指定されています。このゲンジボタルを保護し、自然環境を守り続けていくため、平成元年に地元の有志による柳沢ゲンジボタル保存会が結成されました。

保存会では、川沿いの草刈りやゴミ拾い、ホタルの幼虫の餌となるカワニナの放流、カワニナの餌となる桜の植樹、石積みで造られた堰の保全などの環境整備を毎年行っています。その結果、一時は減少していたホタルも再び多く見られるようになりました。

6月上旬に行われる「柳沢ほたるまつり」では、多くの人が来場

し、地域振興にもつながっています。また、ホタル観賞に訪れる人も年々増えていて、田処会場ではボランティアガイドによる案内や大型のホタル案内看板を設置するなど、少しでも喜んでもらえるよう努めています。

柳沢ゲンジボタル保存会の宮本喜一郎会長は「この地域の宝を次の世代に引き継いでいくため、住民が一丸となって活動していきたい」と今後の抱負を述べました。

